

滑川市の保健事業展開のキーポイント

- 1、【ひと】に注目！
【ひと】にこだわる！
【ひと】に協力・理解を得る！
 - 2、そのひとを核として事業展開を
構築していく！
 - 3、地域（育児）サポート力の強化
- ボランティアの育成と養成**

ボランティア組織と保健師のかかわり

その1

1、組織の位置づけ

① 公に認められた組織としての位置付けをする。

- ・委嘱状は市長名で行なう
市役所や町内会、地区で活動しやすくなる。

② 健康センターを軸とする他の健康づくりボランティアとの交流

- ・ヘルスボランティア 513人
- ・食生活改善推進員 133人
- など地区単位や他市町村との交流 延計 661人

③ ボランティア会員の調整・養成と育成

- ・期限のない会員登録・自主的な活動
- ・会員の高齢化 新規養成
- ・会員のトラブル調整役・考えかたのアドバイス
(仕事や家の都合で活動できない人をせめない等)
何かを行なう事ができなくても、参加する事もボランティア
- ・役職の固執と回避の調整

④ 保健師は黒子に徹する

- ・活動のバックには保健師がいて、市役所があると思う心強さ

ボランティア組織と保健師のかかわり

その2

2、個人や健康センターにおける組織の役割

人生を豊かにするための生き方選択肢のひとつとしてPR

- ① ボランティア活動とは他人のための施しではなく
自分の中の「うれしさ」エンパワーを感じ取れるように支援する。
- ② 今までの生活史でかかわる事の無かった人や場所とのふれあいを通じ
自分の隠れた能力に出会うときめき・・・自分新発見、特別な人だけが、
できるのではない。
- ③ 個人能力の再発見の機会とする。

保健事業の広告塔

- ・健康センター事業に係わる事で、保健事業のよき理解者となる。
- 介助ボランティアでスタッフ側に立ち、保健事業の理解者・協力者である

では、では
ありがとうございました

滑川市



ようこそなめりかわへ

ほたるいかの季節
お越しく下さい。

石川
県

富山
県

